日豪研究交流基金

FOUNDATION FOR AUSTRALIA-JAPAN STUDIES

日豪共同研究
助成金プログラム・ガイドライン

2018 年

目次

日豪研究交流基金のミッションと成果

優先分野 4

資格 5

助成金の使途 5

助成金が適用されない使途 5

選定基準 6

助成額および条件 6

申請方法 7

日豪研究交流基金のミッションと成果

日豪研究交流基金（Foundation for Australia-Japan Studies, FAJS）は、日本とオーストラリアの革新的な共同研究を促進します。FAJS の使命は、科学、技術、イノベーション分野における日豪共同研究の認知度を向上させ、これらのパートナーシップを通じて両国関係に変革を起こす人々を支援することです。FAJS は、産官学連携を通じた日豪の共同研究および科学的協力関係の強化・変革によってミッションを実行します。

そのような目的を達成するため、FAJS は資金とネットワークを活用し、日本側が変革に本気で取り組めるよう、国家的かつ部門横断的な協力を奨励します。さらには、日豪の公共部門および民間部門からの関心を引き付け、資金援助の拡大を実現できるプロジェクトを支援します。

プロジェクト案は下記の基準を満たすものとします。

- 提案には、日豪二国間関係の革新的かつ重要な進展に貢献できる高品質な研究が含まれる
- プロジェクトは、金銭的およびその他の（現物価値等）貢献など、日豪研究者間の効果的な協力を実証する
- プロジェクトは、産学官連携のための既存または十分に検討された計画を含み、かつ、提示された FAJS 助成期間または当初の助成期間を延長する場合においては別の資金源を提示できる。
- FAJS からの資金調達がプロジェクトの成功に不可欠である理由を説明する
- 提案は、ジェンダーバランス（男女比均等）など多様な参加計画を含み、両国関係における次世代研究者およびソート・リーダーの取り組みについて、どのように貢献できるかを示す
- 効果的なアウトリーチプランは、両国間の相互理解と親善度を最大限に高めるために必須な要素である。プロジェクトは、両国関係におけるオーストラリアの影響力と評判を高めるための、市民や意思決定者に訴える計画を明示し、積極的かつ効果的なメディア報道とニュース解説を引き起こし、さらには幅広く洗練された新産業と研究力を保持するオーストラリアの肯定的なイメージを促進する
- プロジェクトは、政策、社会またはビジネス分野において期待される影響を実証する

研究要素を持たないが、他の方法で日豪関係の強化に重点を置くプロジェクトは、豪日交流基金（Australia-Japan Foundation）助成プログラムの検討を推奨する。
(https://dfat.gov.au/people-to-people/foundations-councils-institutes/australia-japan-foundation/Pages/australia-japan-foundation.aspx)

優先分野

FAJS は、上記の基準を満たす幅広い分野における提案を受け付ける。 プログラム初年度は、両国の公式優先事項である科学、技術、イノベーション、健康に関する、いわゆる研究の相互補完性を有する以下の広範な分野でのプロジェクトに特に関心が寄せられている。

素材およびエネルギーに関する技術・システム

- 代替エネルギーおよびシステム、燃焼技術、エネルギーキャリアシステム開発、生体模倣に関する開発、構造材料および他の新素材、鉱業・資源に関する新たな開発、新規の遠隔技術または地球物理学センサ技術等

コンピューター、デジタル、AI の応用および開発

- ビッグデータの利用と応用、サイバーセキュリティ開発およびシステム、自律走行車の開発およびテストを含む新輸送システムの開発、センサーデータ処理等.

食物、海洋、農業に関する科学技術

- 海洋資源技術、リモートセンシング植生分析など他の分野から農業への技術応用、新種の農作物、病気および害虫管理等

医療科学・技術

- 感染症予防および管理、再生医療、 医療機器の開発・改良、研究および早期科学技術の翻訳・臨床応用等

社会および物理的インフラ

- ビジネスイノベーション、技術（AI、IoT など）に起因するビジネスオペレーションの変更、イノベーションマネジメント、社会起業家精神、社会・教育・健康または輸送に関する変化と変化に対する管理、 AI などの技術が社会や労働力に及ぼす影響 、物理的インフラ整備、管理および革新等

ミッションステートメントで述べた一般的な基準を満たす場合、他の分野に関する提案についても検討を行う。業界が発見した実用的な問題あるいは産学連携の共同研究を通して生じた研究課題に関する提案を FAJS は評価する。

資格

申請には以下の資格が必要です。

- 以下の事業体のいずれかを代表するものであること
    - オーストラリアまたは日本の企業または研究機関
    - オーストラリアまたは日本の登録慈善団体、非営利団体または教育機関
    - オーストラリア政府または日本政府機関
- 18 歳未満の者が関わる場合は、プロジェクトに関する児童保護ガイドラインを提供します。.

合弁企業からの申請については、プロジェクトの主な担当者であり、上記の資格を有する申請者の場合は受け付けます。

助成金の使途

助成金は以下の活動に使用されるものとします。

- 申請書に記載されたプロジェクト

助成金は、予算書および同意書に記載された以下の費用の支払い等に使用できる。

- エコノミークラス航空運賃（国内および国際）、適切な宿泊費、食事および日当、その他の交通手段、
- 通信および翻訳費用,
- 関係者に研究結果を発表するプロモーションイベント開催のための会場レンタルとケータリング費用
- 広告とプロモーション、グラフィックデザイン、写真および印刷物
- 会議ごとに 1 名が参加し、参加者はスピーカーであり、会議の主題が助成テーマに直接関係すること
- 研究助手や任期雇用早期キャリア研究者に必要不可欠な機器や給与を含む、FAJS と合意したプロジェクトに直接関係する費用。これには、申請機関の方針に沿った合理的な間接経費が含まれ、FAJS の承認が必要

助成金は、助成同意書に定義された要件を満たす助成活動にのみ使用することができます。

助成金が適用されない使途

以下の場合は、助成金を使用することができません。

- 大学または申請機関の採用する研究者の給与
- 費用の遡及的な払い戻しまたは頻発的活動への資金
- 商業的権利により、既に実行可能な活動
- 申請者に商業的利益をもたらす活動（申請者自身のビジネスプロモーション等）
- 助成金の申請書または関連書類の作成に伴う費用

- 電気、電話、賃貸料、謝金または申請者側団体が徴収する運営管理費などの一般的な管理費用への補助
- 一般的には、活動が目的に直接関連していると FAJS がみなさない場合は、会議に出席するための出張や宿泊への資金提供は行わない。関連すると考えられる事例には、会議に関連するさまざまなプログラムや申請者の選定に関する有効な会議などがある

選定基準

1. **妥当性**: FAJS の戦略的目標との整合性
2. **重要性**: 日豪関係における貿易、投資、政策、社会的側面に貢献する実証可能な成果
3. **イノベーション**: 研究の独創性、イノベーションへの貢献、知識の向上
4. **業績**: 研究経験および身分
5. **ネットワーク**: 産官学の新しいネットワークやリンク、あるいは研究活動において乗数効果が構築できる可能性
6. **持続可能性**: 助成期間終了後の持続的な活動見込み
7. **多様性**: 多様な次世代研究者の関与
8. **共同貢献**: パートナーまたは他の研究助成機関からの献金

助成額および条件

応募する助成額は、最低 50,000 オーストラリアドル以上。プロジェクトに必要であると考えられる場合、理事会はより高い助成額を授与する可能性がありますが、単一での助成額の最大額が 150,000 オーストラリアドルを超えることはありません。

助成金は通常 1 年間の支給ですが、18-24 ヶ月まで研究期間の延長が考慮されることがありますが、延長期間に対して追加の経費配分はございません。

他の基金からの現金または現物による助成は、評価の対象になります。

同じ応募者または合弁企業に対する複数年にわたる助成は、通常考慮されません。

何年も連続して同じ応募者または合弁企業に授与されることはありませんが、その場合には初回の助成期間に非常に優れたパフォーマンスが示される必要があります。

申請方法

応募者は、Expression of Interest に記入し、オンラインで関係書類をアップロードしてください。 申請フォーマットへのリンクは、https://www.fajs.org をご参照ください。

応募には下記の情報が必要です。

- **申請者の名前、プロジェクトのタイトル、希望助成額、プロジェクト期間**
- **応募者の詳細（注意：応募者全員が提案への参加意欲を示す必要があります）**
- **選択基準への回答を含むプロジェクト概要（最大 2 ページ）**
- **短期予算および予算の正当性**
- **参加することに同意したすべての指名応募者による宣言**
- **主導機関との議論の段階および承認可能性の提示**